

## 第 81 回 通 常 総 会 の 開 催

第 81 回通常総会が、令和 6 年 6 月 26 日、明治記念館 2 階「蓬莱の間」において開催された。

本総会では、議案として、「第 1 号議案 令和 5 年度事業報告の件」、「第 2 号議案 令和 5 年度決算の件」、「第 3 号議案 令和 6 年度事業計画の件」、「第 4 号議案 令和 6 年度予算の件」、「第 5 号議案 令和 6 年度会費及び賛助会費の件」、「第 6 号議案 役員選任の件」について審議が行われ、異議なく承認された。

第 81 回通常総会の議事概要は下記のとおり。

### 第 81 回通常総会の議事概要

I 日 時 令和 6 年 6 月 26 日(水) 13:30～16:30

II 場 所 明治記念館 2 階「蓬莱の間」

III 出席者

1 正会員 全国 54 都道府県市獣医師会  
(会場出席 47, 委任状提出 1, 議決権行使書 6, 欠席 1)

2 日本獣医師会

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 砂原和文, 鳥海 弘, 栗本まさ子

【専務理事】 境 政人

【地区理事】 田村 豊 (北海道地区)

小山田富弥 (東北地区)

宇佐美 晃 (関東地区)

上野弘道 (東京地区)

山田有仁 (中部地区)

西山治生 (近畿地区)

高島一昭 (中国地区)

戒能 豪 (四国地区)

草場治雄 (九州地区)

【職域理事】 佐藤れえ子 (学術・教育・研究職域理事)

立川文雄 (産業動物臨床)

森 尚志 (小動物臨床)

横尾 彰 (家畜共済)

加地祥文 (公衆衛生)

佐伯 潤 (動物福祉・愛護)

【監 事】 市川陽一朗, 佐々木一弥, 柴山隆史

【顧 問】 酒井健夫, 村中志朗

【欠 席】 片岡辰一朗 (家畜防疫・衛生)

3 来 賓

【衆議院議員】

坂本哲志 (農林水産大臣)

山口俊一 (自由民主党 獣医師問題議員連盟 副会長 衆議院議員)

中野洋昌 (公明党 獣医師・動物看護師議員懇話会 幹事長 衆議院議員)

逢沢一郎 (自由民主党 衆議院議員)

【参議院議員】

松山政司 (自由民主党 ワンヘルス推進議員連盟 会長代理 参議院議員)

有村治子 (自由民主党 参議院議員)

片山さつき (自由民主党 参議院議員)

古川俊治 (自由民主党 参議院議員)

【農林水産省】

安岡澄人 (農林水産省消費・安全局長)

熊谷法夫 (大臣官房審議官兼消費・安全局付兼輸出・国際局付)

星野和久 (消費・安全局畜水産安全管理課長)

沖田賢治 (消費・安全局動物衛生課長)

土居下充洋 (経営局保険監理官)

吉田和弘 (消費・安全局畜水産安全管理課動物医薬品安全専門官)

岩田 啓 (消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐)

古庄宏忠 (経営局保険監理官補佐)

嶋倉透矢 (消費・安全局畜水産安全管理課獣医療係長)

石井弘祐 (消費・安全局畜水産安全管理課係員)

【環 境 省】

白石隆夫 (環境省自然環境局長)

立田理一郎 (自然環境局総務課動物愛護管理室長)

【厚生労働省】

鳥井陽一 (厚生労働省大臣官房審議官)

森田剛史 (健康・生活衛生局食品監視安全課長)

横田栄一 (健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課感染症情報管理室長)

石井絵美 (健康・生活衛生局食品監視安全課輸出食品安全対策官)

【文部科学省】

奥野 真 (文部科学省大臣官房審議官)

村上寛和 (高等教育局専門教育課 教育振興係長)

【獣医学系大学】

平井卓哉 (宮崎大学農学部獣医学科長)

岩野英知 (酪農学園大学学長)

松本浩毅 (日本獣医生命科学大学副学長)

川上 泰 (麻布大学学長)

#### 【関係団体等】

近藤康二 (公益社団法人 中央畜産会専務理事)

松本博紀 (公益社団法人 畜産技術協会専務理事)

伊佐雅裕 (公益財団法人 全国競馬・畜産振興会業務部長)

宗像俊太郎 (公益社団法人 日本動物病院協会会長)

東海林克彦 (公益社団法人 日本愛玩動物協会会長)

田畑直樹 (公益財団法人 日本動物愛護協会理事長)

濱野晴三 (一般社団法人 日本家畜人工授精師協会常務理事)

長崎淳一 (一般社団法人 日本小動物獣医師会会長)

横田淳子 (一般社団法人 日本動物看護職協会会長)

#### IV 議事

##### 【決議事項】

第1号議案 令和5年度 事業報告の件 (報告事項)

第2号議案 令和5年度 決算の件 (承認事項)

第3号議案 令和6年度 事業計画の件 (報告事項)

第4号議案 令和6年度 予算の件 (報告事項)

第5号議案 令和6年度 会費及び賛助会費の件 (承認事項)

第6号議案 役員選任の件 (承認事項)

#### V 会議概要

##### 【開 会】

駒田事務局長から、開会時において定款第20条の規定に基づき、正会員である地方獣医師会の過半数が出席しており、本総会が成立する旨が告げられた後、日本獣医師会・獣医師倫理綱領「獣医師の誓い — 95年宣言」が一同により斉唱された。

##### 【会長挨拶】



藏内会長から開会挨拶が行われた (巻頭言参照)。

##### 【来賓ご挨拶 (大要)】

来賓から次のとおり挨拶が行われた。

##### 〈農林水産大臣 坂本哲志衆議院議員〉

ご紹介をいただきました、農林水産大臣を拝命しております熊本3区選出の衆議院議員、坂本哲志でございます。一言ご挨拶をさせていただきます。

公益社団法人 日本獣医師会の第81回通常総会がこ



のように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。本日もご参集の皆様が長きにわたり畜産の振興や公衆衛生の向上、動物の愛護や福祉の推進、獣医学術の振興・普及などに真摯に取り組まれ、幅広い分野で大きく貢献されていることに深く敬意を表する

次第でございます。

また、本年4月に開催されました世界獣医師会総会において、藏内勇夫会長の日本人初となる世界獣医師会次期会長への就任が正式に決定されたこと、心よりお喜びを申し上げます。おめでとうございます。

あわせて、令和8年には、平成7年の横浜大会以来、31年ぶりに東京で世界獣医師会大会を開催されることとなり、農林水産省としても大変名誉なことと考えております。藏内会長が推進されてきたワンヘルス・アプローチの取組が日本から世界に向けて大きく動き出すこととなり、この分野における日本の存在感を高めていただけるよう、今後のますますのご活躍をご期待申し上げます。

農林水産省といたしましても、ワンヘルス・アプローチの下、人獣共通感染症対策や薬剤耐性対策について、関係省庁と連携し、しっかりと進めてまいりたいと思います。

さて、本年5月29日には食料・農業・農村基本法の改正法が成立いたしました。本改正では食料安全保障を重要な柱として位置づけ、家畜の伝染性疾病の発生の予防及び蔓延の防止についても新たに規定したところであります。獣医師の皆様が果たす役割がより一層強く期待されており、農林水産省といたしましても、全力で取り組んでまいります。

豚熱につきましては、今月、わが国の養豚主産地であります九州で初めて野生イノシシの感染事例が確認をされ、九州における豚熱の感染拡大リスクはかつてないほど高まっています。地域の関係者の皆様が一体となってこの危機感を共有し、野生イノシシ対策とともに、農場における飼養衛生管理を徹底し、ストップ豚熱に取り組むことが重要であります。

このほか、今月、清浄化宣言がされたものの、引き続き警戒が必要な高病原性鳥インフルエンザや、わが国への侵入リスクがかつてないほど高まっているアフリカ豚熱など、家畜伝染病対策に万全を期してまいりますので、貴会の皆様方におかれましても、主導的な立場からわが国の家畜衛生水準の向上にご協力いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

また、先ほど会長からも言及されましたが、本年4月からは獣医療法に基づく広告制限を見直し、獣医師の専

門性についても広告できるようになりました。それぞれの獣医師の専門性をさらに発揮していただくとともに、飼育者が目的に応じて適切に獣医師を選択することにもつながると期待しております。

そして、愛玩動物分野においても、昨年より愛玩動物看護師が誕生し、現在、約2万人が活躍されておられます。貴会が中心となって、獣医師と愛玩動物看護師との密接な連携の下で、より一層飼育者に寄り添ったチーム獣医療が提供されていくことを期待しております。

結びに、貴会のさらなるご発展と本日ご列席の皆様方のますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、私の祝辞といたします。

#### 〈自由民主党獣医師問題議員連盟副会長 山口俊一衆議院議員〉



皆さん、こんにちは。ただいまご紹介をいただきました自由民主党獣医師問題議員連盟副会長を仰せつかっております徳島の山口俊一でございます。本日はどうしても麻生会長がお伺いをすることができないということで、「副会長、おまえ行ってこい」ということ

でございましたので、お邪魔をさせていただきました。改めて、第81回日本獣医師会通常総会のご盛会、誠にありがとうございます。先ほど坂本大臣も触れておられましたが、今回は特に、藏内会長が世界獣医師会の次期会長にご当選ということで、本当におめでとうございます。ますますのご活躍を心より期待しております。

実は私も、獣医師問題議員連盟の一員であると同時に、面白いことにもう一つ議員連盟の一員でございます。これは何かといいますと、「爬虫類・両生類を考える議員連盟」というのがございます。動物愛護管理法の中でどうも爬虫類、両生類が抜けておるのではないかと、いうふうな意見もこれありで、無理やり引っ張り出されて会長を仰せつかっております。正直、カエルは好きなんです。蛇は大嫌いです。先般の動物愛護管理法改正のときいろいろと触れていただいたようなことがございましたが、ぜひともまた爬虫類等も仲間に入れていただきまして、一緒にやることができたらなと、そんなふうに思っております。

もう一つ、実は私の娘が獣医師でございます。岡山県で今、鳥インフルだとか何とか、最近ではウイルスの方ばかりやっておるんですが、頑張っておるところでございます。たしか5人、自民党の国会議員のお子さんに獣医師がいらっしゃるということで、実は「パパの会」を作っております。時々藏内会長にも来ていた

いて、食事をしたり意見交換をさせていただいたりしております。

非常にありがたいと思うのが、今、獣医師の皆さん方が置かれている状況というのがとてもよく分かるんです。頻りに娘から電話がかかってきています。ちなみに、娘が勤めている岡山県庁は、全国で一番給料が安いんです。

特に大変だなと思ったのが、本来獣医師というのは動物が好きで獣医師になる方が、特に女性に多いらしいですけれども、その動物が大好きな獣医師が、鳥インフルエンザにしても豚熱にしても、自ら手を下して殺処分せざるを得ない。これはもう大変な苦痛ですというふうなことを娘も言うておりましたし、そういったことがあるたびに多くの獣医師の皆さん方が職場を辞めていくという話もございました。こういったことも何とかしなければいけません。

愛玩動物看護師の国家資格化にもこれまで取り組んでまいりましたが、いろいろ生の声も聞かせていただきながら、皆さん方と一緒に考えていくことができるということで、決して名前だけのパパの会にしないように、ぜひともお願いをいたしたいと思っております。

いろいろな課題を抱えた中で頑張っておられる皆さん方でございます。ワンヘルスの思いの中でしっかりとその役割を、獣医師倫理綱領にもございましたように、果たしていただければと思っております。改めて、獣医師会の皆様の益々のご活躍、そして会長がこれから世界を股にかけて頑張ってくださいませよう、さらなるご発展を心よりお祈りさせていただきます。ご祝辞に代えさせていただきます。

#### 〈自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長代理 松山政司参議院議員〉



ご紹介にあずかりました。自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長代理を務めております参議院議員の松山政司と申します。今日は当議連の会長であります林 芳正内閣官房長官が公務のために急遽来られないということになりました。代理としてご挨拶を一言申し上げたいというふうに思います。

まず、日本獣医師会第81回通常総会が、全国から参加者がお集まりになられて盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

私どもの議員連盟は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの経験を踏まえて、ワンヘルスの理念の下、獣医師と医師、そして環境の専門家が連携・協力して、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守ることによって、地域や社会の持続的な発展を目指す、その基



盤をつくるために昨年の3月に設立をされました。本日も臨席の各地方獣医師会会長の皆様をはじめ、獣医師の皆様が日頃からこのワンヘルス推進の要として、獣医療やあるいは畜産振興、公衆衛生等、さまざまな側面から国民の生活と社会を支えるために日夜ご活躍をいただいておりますことに、本当に深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

また、お話がございましたように、藏内会長におかれましては、今年の4月に南アフリカのケープタウンで開催されました世界獣医師会の総会におきまして、次期会長に就任をされました。誠にめでたうございました。これで2年後には世界獣医師会会長に就任されることになったわけでございます。日本人で初めてとなるこの快挙は、日本獣医師会のみならず、わが日本にとりましても大変な栄誉でありまして、私も外務副大臣を務めさせていただいたりする中で外交問題に取り組んでまいりましたが、このような重要な役割を担う国際機関のトップを日本人が務めるといことが、いかに国際社会におけるわが国のプレゼンスを高めるか、その意義と効果は本当に計り知れないところでございます。

藏内会長が世界各国の獣医師会から圧倒的な支持を集められた理由は、まさに日本獣医師会から始まった獣医師と医師の連携によるワンヘルス推進の取組、それとともに、政治・行政を動かしてワンヘルス実践の仕組みづくりやこの施策を実現してこられた、その実績が高く評価されたというふうに理解をしています。今後、人と動物の健康や生態系の維持に関わるさまざまな問題に、このワンヘルス・アプローチ、これにより取り組む考え方が、藏内会長と日本獣医師会のリーダーシップの下に日本を起点に世界に広がっていくことを大いに期待しております。

そして、われわれ議員連盟といたしましても、日本獣医師会からいただいておりますさまざまな要請の実現にしっかりと取り組んでまいります。皆様方には強いご支援を賜りますよう、衷心よりお願いを申し上げます。

結びになりますが、日本獣医師会及び各地の地方獣医師会のますますのご発展、また本日もご参会の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

#### 〈公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事長 中野洋昌衆議院議員〉

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました公明党の獣医師・動物看護師議員懇話会の幹事長をしております兵庫8区選出の中野洋昌でございます。本来であれば古屋範子会長が挨拶を申し上げますべきところ、本日公務ということで、代理でご挨拶をさせていただきます。よ



ろしくお願いいたします。

第81回日本獣医師会通常総会、全国から集われての盛大な開催、本当におめでたうございます。私も、地元で獣医師の先生方、動物病院の皆様、あるいは畜産関係、公衆衛生関係の皆様、また公務員獣医師として市役所あるいは県

庁、さまざまな分野で本当にご活躍されている先生方に大変にお世話になっております。改めて感謝、お礼申し上げます。

また、本年1月1日に発生した能登半島地震におきまして、藏内会長からもご紹介がありましたけれども、獣医師会の皆様におかれましては、支援金や資材、フード、あるいは移動診療車の派遣と迅速な支援活動を行っていただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

先ほどから多くの先生方が指摘されておりますワンヘルスにつきましては、新型コロナ禍を経て、日本獣医師会の皆様が唱えられて広めてこられた、人と動物の健康と環境の保全を一体的に捉えるというこの考え方が、本当に重要性を増してきていると思います。そして、藏内会長におかれましては、アジア獣医師会連合の会長もやっておられる、そして日本人初となる世界獣医師会次期会長へのご就任ということで、改めて私からもお祝いを申し上げます。まさに日本からアジア、そしてアジアから世界ということで、ワンヘルス活動の取組を力強く発信していただけると確信をいたしまして、また、そのご尽力に改めて敬意を表する次第でございます。

私は、公明党動物愛護管理推進委員会の委員長もやっております。獣医師会の皆様には、犬猫のマイクロチップの装着登録制度について、一昨年よりスタートしておりますが大変ご心配をおかけし、さまざまなご意見やご要望もいただいているところであります。本年から登録手数料の見直しというは行ってまいりましたけれども、さらに、皆様にとって、また飼育者の方にとって、また自治体にとっても、獣医師会の先生方にとっても、活用しやすい仕組みにしないといけないと、こういう強い思いを持っております。引き続き皆様のご要望をしっかりと受け止めて、懇話会としても頑張ってまいりたいと思いますし、また、愛玩動物看護師の国家資格化というのも一昨年から実現をしておりますけれども、本年度、3回目の国家試験ということであります。獣医師の先生方と役割分担をされ、高度かつ多様なチーム獣医療、これもさらに進んでいくということもご期待しております。

公明党は、また日本獣医師会の皆様のご意見も賜りつ

つ、人と動物が共生できる社会、この実現に向けて尽力してまいりたいと、こういう決意でございますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。結びに、日本獣医師会のますますのご発展、また本日ご参会の皆様のご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

〈環境省 白石隆夫自然環境局長〉



ただいまご紹介いただきました環境省自然環境局長の白石でございます。本来でありましたら、伊藤環境大臣が出席し、皆様方にご挨拶を申し上げるべきところでございますが、諸般の事情により出席ができませんでした。どうぞご寛恕を賜ればと思います。伊藤大臣から挨拶を預かってまいりましたので、小職が代読をさせていただきます。

本日、日本獣医師会の第81回通常総会がこのように盛大に開催され、さらに、藏内会長におかれましては世界獣医師会次期会長へ就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。ワンヘルスの推進、人と動物の共生社会の実現がますます世界的に加速することを確認しております。

また、日本獣医師会の皆様方には、日頃より希少野生動物の保護や動物愛護管理等、広く自然環境行政の推進に格別のご理解とご協力をいただいております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

今年1月に発生いたしました能登半島地震対応では、環境省では、日本獣医師会を含め、石川県や石川県獣医師会等の関係各所の皆様と連携し、対応に当たってまいりました。被災ペットの診療や健康管理をはじめ、獣医師の皆様のご役割の重要性を改めて感じたところでございます。

被災された地域では、マイクロチップによりまして、飼い主とはぐれたペットが返還された事例もあると報告を受けております。これは、犬と猫のマイクロチップ情報登録制度におきまして、日本獣医師会が指定登録機関として登録事業を適切にご遂行いただいている成果の一つであるというふうに考えております。

また、本年2月には第2回の愛玩動物看護師国家試験が実施されております。現在、2万人を超える愛玩動物看護師が誕生し、社会で活躍されているところでございます。愛玩動物看護師と獣医師の皆様とのさらなる連携によりまして、愛玩動物に対するチーム獣医療体制が進み、愛玩動物の愛護及び適正な飼養が強化されることを期待しております。

このほかにも、獣医師の皆様には、ペットの適正飼養

の普及啓発、希少野生動物の傷病個体の救護、動物園における生息域外保全、鳥インフルエンザウイルスの検査対応など、現場のさまざまな課題につきまして、多大なるご協力とご指導をいただいております。これらは藏内会長がいち早く提唱してこられたワンヘルスの具体的な取組でもあり、日本獣医師会と環境省との連携は年々幅広く深くなってきており、さらに連携を強固にしていきたいと思いますというふうに考えております。

環境省といたしましては、人と動物の共生する社会の実現に向け、今後とも努力を重ねてまいりますので、日本獣医師会の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、日本獣医師会の今後のますますのご発展と本日お集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

〈厚生労働省 鳥井陽一大臣官房審議官〉



本日は、第81回公益社団法人日本獣医師会通常総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。厚生労働省大臣官房審議官の鳥井です。武見厚生労働大臣が公務のため出席がかなわず、大臣から祝辞を預かってまいりましたので、僭越ながら私から代読させていただきます。

第81回日本獣医師会通常総会の開催に当たりまして、ご挨拶申し上げます。

貴会は、昭和23年の設立以降、長年にわたり人獣共通感染症対策や食品安全対策など、公衆衛生の向上に多大な貢献をしてこられました。この場をお借りいたしまして、改めて感謝を申し上げるとともに、これまでの貴会の取組に深く敬意を表します。

また、本年4月に藏内日本獣医師会会長が世界獣医師会次期会長に就任され、大変喜ばしく思うと同時に、日本人で初めての就任とのことで、誇りに思っている次第でございます。おめでとうございます。

さて、近年の人獣共通感染症対策を取り巻く状況については、社会的な関心も高く、昨年5月のG7長崎保健大臣宣言でもワンヘルス・アプローチについて言及され、10月には保健、農業、環境の関係官庁が参加いたしますワンヘルスに関するハイレベル専門家会合を、わが国のリーダーシップの下、G7として初めて開催し、各国のワンヘルスの具体的な取組を共有するとともに、国際的な取組の状況等について議論がなされました。

ワンヘルス・アプローチは、人獣共通感染症対策や薬剤耐性、いわゆるAMR対策において重要であり、国内外の獣医師、医師などの関係者が分野の垣根を越えて連



携する取組が求められております。また、人獣共通感染症対策としては、狂犬病予防法関連手続等のデジタル化の推進は必須と考えておりました。厚生労働省としては、貴会をはじめとする関係各所と連携をして、取り組む所存でございます。藏内会長の強いリーダーシップを期待いたします。

こうした中、貴会がワンヘルス・セミナーの開催をはじめとする、ワンヘルスの考え方の普及啓発活動や、地方獣医師会と連携をいたしましたワンヘルス・アプローチの推進に率先して取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。ワンヘルス・アプローチを推進するに当たっては、藏内会長率いる貴会が重要な柱となりますので、引き続きご協力いただきますようお願いを申し上げます。

厚生労働省におきましても、引き続き農林水産省や環境省等の関係省庁や貴会を含む関係者との一層の連携を図り、人獣共通感染症対策や AMR 対策に取り組んでまいります。

また、食品分野につきましても、食肉や食鳥肉の安全確保に必要な検査業務、また、食品の営業許可施設における監視指導について、獣医師の皆様活躍なくして成り立ちません。今般の紅こうじ関連製品による健康被害につきましても、弊省内の獣医師はもちろんのこと、関係自治体の獣医師の皆様とも連携をしながら対応し、先月末に機能性表示食品制度に関する今後の対応を取りまとめたところでございます。

このように人獣共通感染症対策や食品安全対策を進め、公衆衛生の確保と向上を図るためには、貴会と第一線で活躍されている獣医師の皆様のご理解、ご協力が不可欠です。引き続きよろしくをお願いを申し上げます。

最後になりますが、公益社団法人 日本獣医師会のみならずのご発展と本日お集まりの皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

#### 〈文部科学省 奥野 真大臣官房審議官〉



ご紹介いただきました文部科学省の大臣官房審議官の奥野でございます。本日は、盛山文部科学大臣の祝辞を預かってまいりましたので、代読させていただきます。

このたび、第81回日本獣医師会通常総会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。本日は、G7教育大臣会合出席のため参加がかなわず、誠に残念に存じます。

藏内会長をはじめ、日本獣医師会会員の皆様方におかれましては、日頃より獣医学教育の充実・振興にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、文部科学省では、平成23年に実施された獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議において示された5つの改革工程に基づき、国際水準の教育の実現、家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野の実践的教育の強化等、獣医学教育の改善に努めてまいりました。昨今、産業動物獣医師及び公務員獣医師の減少が懸念されており、その養成・確保が喫緊の課題となっていると認識しております。

これまで各獣医系大学において、家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野で活躍する獣医師の養成に貢献すべく、日本獣医師会並びに農業共済団体等の家畜診療所、家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、保健所等の各施設のご協力をいただきながら、学生の診療参加型臨床実習及び体験型家畜衛生・公衆衛生実習の実施に取り組んできたところで、文部科学省といたしましては、今後も外部実習受入れ施設の皆様方のご協力をいただきながら、診療参加型臨床実習等の外部実習の円滑な実施に努めてまいります。

また、獣医学を学ぶ学生が高い能力を持った獣医師へと成長するためには、獣医師の皆様と大学が手を携えて、実践的な教育を進めていくことが必要です。文部科学省におきましても、獣医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた調査研究に取り組んでいるところです。日本獣医師会及び会員の皆様方には、引き続き獣医学教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、日本獣医師会のみならずのご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

#### 〈公益社団法人 中央畜産会 近藤康二専務理事〉



ただいまご紹介いただきました、中央畜産会で専務理事を仰せつかっております近藤と申します。よろしくお願いいたします。

公益社団法人 日本獣医師会 第81回通常総会がこのように盛大に開催されますことに、心よりお喜びを申し上げます。また、私ども中央畜産会は、畜産経営の改善や安全な畜産物の生産、さらには家畜衛生の向上に関する多くの事業を行っているところでございますけれども、獣医師会さんにおかれましては、高度な獣医学的な知識や経験を基に、私ども中央畜産会のさまざまな事業に対して、多くのご指導、ご鞭撻をいただいているところでございます。高いところからではございますけれども、この場をお借りして心よりお礼申し上げたいと思います。

また、先ほど来のご挨拶の中にもございましたように、藏内会長におかれましては、次期世界獣医師会の会

長に日本人で初めてのご就任ということで、心よりお祝いを申し上げます。中央畜産会においても、藏内会長におかれましては約20年の長きにわたり、常務理事としてさまざまなご指導をいただいているところでございます。畜産関係団体としても、本当に名誉なことと感じているところでございます。

また、私ども中央畜産会が行っております畜産経営指導、それから家畜衛生の指導、この2つの指導事業は、畜産経営においてまさに車の両輪であると考えているところでございます。家畜衛生の推進におきましては、産業動物獣医師の確保が重要な課題と考えているところでございます。

このようなことから、農林水産省のご指導の下、産業動物獣医師を目指す獣医学生に対しまして修学資金を給付する事業、獣医学生に産業動物の診療の現場や検査の現場で臨床実習を実施していただくような事業、また、産業動物獣医師の皆さんを対象にしました家畜伝染病等の最新の知見を紹介するような研修事業などを行っております。さらには、農林水産省のご指導の下、日本獣医師会、それから全国農業共済協会、それと中央畜産会、3者で産業動物獣医師確保懇談会を開催して、さまざまな情報交換、意見交換を行っているところでございます。

ただいま申し上げたいいろいろな事業につきましては、畜産振興を図るうえでは大変重要な事柄でございます。適時適切に実施していくうえでは、獣医師会からのご指導、ご鞭撻が必要不可欠なものと考えているところでございます。つきましては、この場をお借りし、藏内会長をはじめ、貴会のますますのご支援をお願いするところでございます。

結びになりますけれども、日本獣医師会のますますのご発展、そして、藏内会長をはじめ、本日お集まりの皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

#### 【来賓の紹介】

駒田事務局長から来賓の紹介が行われた。

#### 【賛助会員出席の披露】

駒田事務局長から出席の賛助会員の紹介が行われた。

#### 【祝電の披露】

駒田事務局長から祝電が披露された。

#### 【獣医師会職員永年勤続表彰】

獣医師会の永年勤続職員に対して次のとおり表彰が行われた。

#### ・40年勤続表彰

植田光弘（茨城県獣医師会）

#### ・20年勤続表彰

長野晋太郎（日本獣医師会）

中村まゆみ（神戸市獣医師会）

佐藤ヒサ（徳島県獣医師会）

#### 【議長・副議長選出】

会長が仮議長となり、議長・副議長の選出について「仮議長一任」の声を受け、次の2名を議長・副議長に選出した。



議長  
安食政幸  
（島根県獣医師会会長）



副議長  
浦山良雄  
（福岡県獣医師会会長）

#### 【議 事】

議長により次のとおり議案審議が進められた。

#### 《第1号議案 令和5年度事業報告の件》

- 1 境専務理事から、令和5年度事業報告について説明され、報告された。

#### 《第2号議案 令和5年度決算の件》

- 1 境専務理事から計算書類の重点事項が説明されるとともに（別記1 令和5年度正味財産増減計算書）、柴山監事から決算監査報告（監査講評は本誌第77巻第8号383頁参照）が以下のとおり行われ、異議なく承認された。

#### 〔決算監査報告〕

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告をいたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び

財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

事業報告等の監査結果：事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果：計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

### 《第3号議案 令和6年度事業計画の件》

#### 《第4号議案 令和6年度予算の件》

- 第3号議案、第4号議案は関連議案として一括上程され、境専務理事から令和6年度事業計画（別記2 令和6年度事業計画書）及び収支予算（別記3 令和6年度収支予算書）について説明が行われ報告された。
- 令和6年度獣医学術学会年次大会について、開催地の地元獣医師会の宮城県獣医師会、渡邊清博会長及び仙台市獣医師会、小野裕之会長から、開催への協力と支援が要請された。



渡邊清博会長  
(宮城県獣医師会)



小野裕之会長  
(仙台市獣医師会)

- 出席会員から、小動物臨床獣医師への対応や配慮・評価が日本獣医師会としては希薄ではないのか、獣医師会が何をしているのか、自分たちにどのように関わっているのかについて、情報共有を一層進めるべきではないかという点について意見され、藏内会長から、日本獣医師会の会員は皆平等に捉えていることが説明され、特に小動物関係には多くの課題があり、重点的に委員会等を設置し対応しており、引き続き女性

獣医師就業支援に係る問題を含めて頑張っていきたい。情報共有については、ネット社会でもあることから、より改善し、会員からも日本獣医師会に意見を承ることができるよう努めたい旨説明された。

### 《第5号議案 令和6年度会費及び賛助会費の件》

境専務理事から令和6年度会費及び賛助会費について説明され、異議なく承認された。

### 《第6号議案 役員選任の件》

境専務理事から、現役員である専務理事が6月26日の第81回通常総会の終結時をもって辞任すること、また特任理事が空席であることに鑑み、令和6年度第1回理事会で選出された役員候補者名簿が示され、候補者ひとりずつ承認が諮られ、異議なく承認された。

#### 【理事候補者】

伏見啓二（日本獣医師会参与・専務理事）  
石橋朋子（東京大学特任研究員・特任理事）

#### 【議長・副議長の退任挨拶】

議長・副議長から退任に際して円滑な審議へのお礼が述べられた。

#### 【日本獣医師連盟 村中志朗委員長挨拶】



日本獣医師連盟委員長の村中でございます。

本総会でもいろいろと連盟に関係する活動報告が出ていたと思います。本総会の資料でも35ページにわたり紹介しているとおり、精力的に連盟の活動をしてまいりました。自民党のいわゆる裏金問題等がございまして、いわば政治資金パーティーと呼ばれるものは数が相当減っているという印象でございます。今後、新しいルールに基づいて、われわれは支持していく政党を応援していく活動を続けてまいりたいと思います。

また、報告にもありましたけれども、マイクロチップに関しましては、この秋の臨時国会で大きく動きが出ると思います。

また、専務理事の先ほどの説明にもありましたけれども、狂犬病予防法の特例措置、いわゆるワンストップサービスについても、厚労省には医療DXの一環という形で捉えていただいておりますし、現在も厚労省の担当者、それから本会の担当者と膝を突き合わせての検討を進めているところです。回数も多く持っているところなので、これもいずれいい方向に行ってくればなという



ふうには思っているところでございます。

そのような形で、日本獣医師会が抱える問題につきましては、一つ一つ連盟として解決すべく尽力しているところでございますので、この場をもってご報告を申し上げます。

本日、最後までご出席いただきました有村治子<sup>ありむらほるこ</sup>参議院議員でございます。先ほどもご紹介がありましたけれども、来年の参議院選挙の全国区で日本獣医師連盟として推薦をしている候補者でございます。簡単ではございますが、有村先生についてのご紹介をしたいと思います。

有村治子先生は、昭和45年9月21日、石川県生まれです。滋賀県育ち、ルーツは鹿児島県ということでございます。平成13年、参議院議員選挙、比例代表全国区にて初当選。平成26年から27年、初代の女性活躍担当大臣、少子化対策担当大臣、行政改革担当大臣、国務大臣（国家公務員制度・規制改革・男女共同参画・消費者及び食品安全担当）を歴任されております。令和3年には自民党広報本部長などの要職を務められております。現在は参議院4期目、党総務会副会長、情報監視審査会会長、資源エネルギー・持続可能性社会に関する調査会などでご活躍されております。また、おふたりのお子様のお母様、いわゆるワーキングマザーとして、命の重み、家族や地域の絆、国家の尊厳を守ることを志しながら、ご活躍されておられます。

それでは、有村先生から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

#### 【自由民主党 有村治子参議院議員】



ただいま村中委員長様からご紹介を賜りました参議院議員の有村治子でございます。北海道から沖縄まで全国47都道府県を選挙区にしておりまして、参議院の4期目をおあずかりさせていただいております。23年前の初当選から、

しっかりとした国家観と地に足の着いた生活感、この両方を併せ持って、命の重みと地域や家族の絆と国家の尊厳を守るということを議会活動の中核の価値感に据えて、活動を重ねてまいりました。

本日、81回目を数えることになられます日本獣医師会の大事な総会にお招きにあずかりましたこと、大変光栄に存じながら、この場にいさせていただく、その幸せと責任をずしりと感じる次第でございます。開会から3時間となる中で、本当に先生方が責任ある民主的な運営の下で、真摯に挙手をして、しっかりと投票者の数まで数えておられる姿勢、そして日頃からサイエンスで命を守っておられる、そんな集中力のおありになる先生方のお姿を見て、感銘を受けました。

私自身、少しでも先生方が活躍されていらっしゃる現場を見させていただこうと、先日、千葉県農業共済組合の皆様にご協力いただいて、市原市にあります中央家畜診療所に参上させていただきました。そして、その産業動物診療獣医師の先生方と一緒に時を過ごさせていただきました。まさに乳牛が妊娠するためのいわゆる種というか、精液が液体窒素の中で保存をされている姿を見て、不妊治療の現場と似ているなという思いを強めました。

また、トランクルームではセファゾリンの液体を見せていただきまして、セファゾリンといえば、もともと5年ほど前に中国でその原液の生産が滞った際、人用の抗生物質がなかなか手に入らず、外科手術も滞ったということを思い出しました。まさに先生方が提唱されているワンヘルスということ、そして、この場でマスクをかけていらっしゃる方もいらっしゃいますけれども、まさに今までは安いところで経済合理性で作って売ればいいと、30枚100円で売っていた不織布のマスクに誰も見向きもしなかった時代から、それがひとたび感染症が広がると戦略物資になるということに気づかされたのと同様に、このセファゾリンも国民の命あるいは動物の命ということでは、中国一国に任せておくわけにはいかないと、まさに私自身が日々取り組んでおります経済安全保障のその現場の一端を垣間見させていただくような思いでございました。ワンヘルスというのは、かくも繋がっているんだと教えていただいた次第でございます。

また、牧場にも参りました。飼料の高騰、そして先ほども話題にありました、円安の中でどれだけ牧草の価格が変動するかという中でやっておられ、まさに500ミリリットルの水が小売価格で150円で売られる中、500ミリリットルの倍の1リットルの牛乳が小売価格で200円で売られているということが、果たして持続可能な仕組みなのかどうか、まさに私自身が取り組んでおりますが、国力をこれ以上落として買いたたかれる日本になってはいけないというふうに思う中で、持続可能な適正価格とは何たるかということ、ご説明をいただきながらずしりと考えた次第でございます。

先ほどから話題になっております女性獣医師の先生方のご活躍も垣間見させていただきました。10年前に私は安倍内閣で初代女性活躍担当大臣、また消費者庁の担当大臣をさせていただきました。まさに牛舎で牛が尻尾を気持ちよく立てると一体何が起こるのかということ、私自身もつなぎを着て、温かいものを感じながら、実際にそのスプラッシュの運氣をいただいたわけでございますけれども、洗礼をいただきました。

その中で、尻尾をつかんで体温計を肛門の中に入れ、大切な牛の健康を守っていただいている獣医師の先生方、女性獣医師の先生方がひとたびそのつなぎと長靴をお脱ぎになると、3人の小さなお子さんをお持ちのお母

様であるということで、それまでたくましいな、専門職で本当にご立派だなと思っていましたけれども、つなぎをお脱ぎになった途端、それはおひとりのワーキングマザーのリアルなお姿で、私自身もふたりの子どもを、大学生と中学生になっておりますけれども、育てながら議会活動を23年間続け、そして女性の初代の女性活躍担当大臣をしてきた者として、まさに女性が安全を感じて安心できる社会は、みんなにとって治安のいい、健全な社会でございます。女性の専門職が本当に心置きなく活躍できる、そういうところは、男性にとってもみんなにとっても、働きがいのある、そして働きやすい、そういう環境になってまいります。そういう意味で、獣医師の先生方がこれからの社会を担っていくために、女性の獣医師の先生方のバックアップを意図してやっていこうとしておられるお姿にも感銘を受け、そして、お供させていただきたいと思った次第でございました。

最後に、小動物ということで、犬猫病院、動物病院を見学させていただきました。まさに人間ではないことから、医療データが必ずしも整っていない、そして、言語的にコミュニケーションしてくれるわけではない、時にはその動物の飼い主さんと切った張ったでいきなり命の決断をしなきゃいけない、そんな意思決定をされて、そんな命を救っておられる先生方のその緊張と集中力にも、おのずから頭が下がる次第でございました。

この春、獣医師会の藏内会長様、そして日本獣医師連盟の村中委員長様、そして自由民主党の獣医師問題議員連盟の麻生太郎自由民主党副総裁、そして私の4者で政策協定を結ばせていただき、その栄誉をいただきました。そして、来年の夏、私は5度目のたすきをかけさせていただくことに相なります。いつものように毎週末、全国を走っておりますけれども、その中で、「私達獣医師が本当に真摯に取り組んでいるその問題解決に向けて、有村さんも一緒にやっていこう。そしてともに歩ん

でいこう」と、もったいないお言葉を賜りました。あらためて身の引き締まる思いでございます。

ワンヘルス、そして世界で、まさに日本獣医師連盟の先生方、獣医師会の先生方が築き上げられた知見や、あるいはそれを国際基準にしていこうという、国際秩序に働きかけていかれる、またとない機会でお供をさせていただきたいと思います。その政策協定をいただきました。もったいないご推挙に恥じないように、自由民主党としては大変ご迷惑、ご心配をおかけしておりますが、有村事務所としては完全に潔白の状況でございます。これからも身ざれいであることを大事にしながら、全国で先生方の取り組んでおられる課題に少しでも補佐ができるように、心を込めて真摯に取り組んでまいります。

今日、このような発言の機会を賜りましたこと、また獣医師会の先生方、全国を代表される先生方の本当にお仲間に入れていただけることに、心からの感謝と責任とそして矜持を感じ、今日表彰の栄誉に浴されました皆様、そして9年間のご労苦を見事に花束で皆様の拍手を受けられました境専務理事様のご貢献にも思いをはせて、これから仲間に入れていただけるように努力をしてまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

#### 【閉 会】

駒田事務局長から第81回通常総会の閉会が告げられ、このち別室にて第3回理事会を開催し、執行理事及び専務理事を決定し、その結果はこの会場で発表する旨説明された。

#### 【役員選定結果等】

駒田事務局長から、専務理事として伏見啓二氏、特任理事として石橋朋子氏の氏名が読み上げられ、紹介が行われた。